

地域農業・教育連携モデルの創出

<メニュー内容>

生産者等が学校関係者等と連携し、①農林漁業体験、②学校給食における地場産物の活用等、③座学を総合的に実施する計画の作成と実践を支援

※農林漁業体験等により、食料安全保障や合理的な費用を考慮した価格形成など、農林漁業を取り巻く状況や課題への理解を促進するための活動を想定している。

生産者、学校関係者等が連携したモデルイメージ

【ポイント】

①農林漁業体験、②学校給食における地場産物等の活用等、③座学について総合的に取り組み、その効果を最大とする順序と時期に誰が何を行うのかについて計画を策定し、実施することを条件とする（学校現場における指導計画等に適宜反映）。

① 農林漁業体験の提供

【支援メニュー】

- ・ 食や農林水産業への理解を深める農林漁業体験プログラム・教材の企画開発などの検討会
- ・ 植え付けや収穫などの農業体験とその収穫物を使った調理体験
- ・ 農業体験用のほ場管理
- ・ 学校農園の整備・活用
- ・ 栽培技術指導
- ・ 指導教員への農林水産業等に関する研修（体験・学び）
- ・ 説明会・セミナーの開催
- ・ 産直活動のプロモーション等の検討に向けた専門家招へい



② 学校給食での地場産物の活用

【支援メニュー】

- ・ 給食関係者と生産者の目合わせ会
- ・ 地場産物等活用献立開発、試食会
- ・ 地場産物等の活用に向けた、機械・設備等の導入
- ・ 地場産物等に関する食育授業

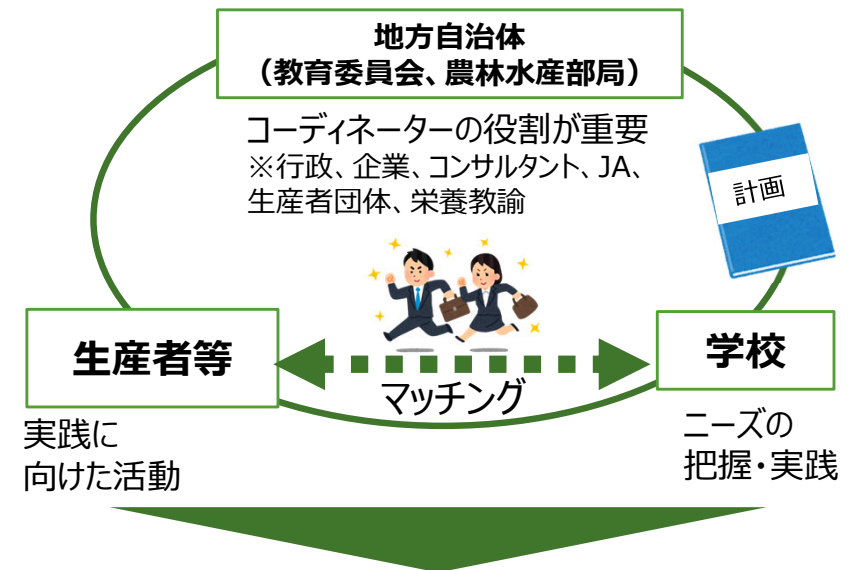


③ 座学

【支援メニュー】

- ・ 農林漁業を取り巻く状況や課題への理解を促進するための講師派遣

<事業の流れ>



<モデルの横展開>

1. 連携体制、仕組み、ノウハウづくり
2. 効果の見える化、周知
3. 供給先確保と学びの充実による継続的な展開